

エコアクション21 環境経営レポート

【2023年3月1日 ～ 2024年2月29日】



2024年 6月18日発行

三朋企業株式会社

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

事業者名	三朋企業株式会社
代表者	代表取締役 宮石 喜康
設立日	昭和 48 年 4 月 19 日
資本金	1,000 万円

2) 所在地

本社	〒370-3338 群馬県高崎市宮沢町 1793-1
前橋営業所	〒371-0846 群馬県前橋市元総社町 98-5
伊勢崎工場	〒372-0022 群馬県伊勢崎市日乃出町 473-1

3) 環境管理責任者

環境管理責任者: 川浦 茂信

4) 連絡先

連絡担当者	小田切 ミキ
TEL	027-374-2020
FAX	027-374-5777

5) 事業活動の内容(認証登録範囲)

三朋企業株式会社 全組織・全活動

・ダクト製作・ダクト工事・空調設備業・精密板金業

6) 事業規模と許可番号

・事業規模

活動規模	単位	2023 年
売上高	百万円	150,743
従業員	人	106
床面積	m ²	5,291 (本社)

・一般建設業の許可

許可番号	群馬県知事許可 (般-4) 第 15407 号
許可の有効期限	令和 4 年 11 月 29 日～令和 9 年 11 月 28 日
建設業の種類	管工事業・熱絶縁工事業

・産業廃棄物収集運搬業(積み替え保管なし)ー自社運搬のみ

・環境関連技術資格の名称と取得人数

産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(新規)の収集運搬課程を修了(宮石 喜康)・・・1名

・産業廃棄物許可証の内容及び許可番号

産業廃棄物収集運搬業				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
都道府県名	許可取得年月日 及び有効年月日	許可番号	積替え保管	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	不要物	動物系固形物	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くず	ガラスくず・コンクリートくず	がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん	1 3 号廃棄物	中間処理物	輸入された廃棄物
群馬県	令和2年4月1日 令和7年3月31日	1000116510	有	無					●		●					●	●		●							

・第一種フロン類充填回収業者登録番号

群馬県

登録番号	101398
有効期間満了年月日	令和 10 年 10 月 22 日

埼玉県

登録番号	埼玉県知事 19100154 号
有効期間満了年月日	令和 9 年 2 月 15 日

長野県

登録番号	2011305
有効期間満了年月日	令和 10 年 5 月 10 日

栃木県

登録番号	栃木県 第 1 - 1649 号
有効期間満了年月日	令和 9 年 2 月 14 日

7) 運搬車両・営業車両の種類と台数

2t平積車・営業車 事務所管理(軽油)	4 台
営業車 事務所管理(ガソリン)	12 台
営業車 現場管理(軽油)	0 台
営業車 現場管理(ガソリン)	17 台

8) 推進組織図



2. 環境経営方針

環境経営方針

三朋企業株式会社は、空気を扱うプロであり、地域社会から必要とされる存在であり続けるために、環境保全・省エネルギーへの取組みが大切な責務であると認識し、あらゆる事業活動において環境に配慮した行動に努め、環境問題の改善に貢献するとともに、住みよい社会づくりに貢献します。

1. 当社はダクト工事・エアコン工事・板金加工等の事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め継続的な改善に努めます
2. 関連する環境の法規制を遵守し、環境汚染の防止や、環境保全の継続的改善を図ります
3. 事業活動のなかで、特に以下の項目を重点的なテーマとして環境経営目標を設定し取組み、必要があれば目標を見直すなど継続的に改善向上をはかっていきます
 - ① 電力、ガソリン、LPG などのエネルギー使用量の削減、温室効果ガスの排出量削減
 - ② ICT を活用し、事業活動から排出される産業廃棄物量の削減と適切な処分
 - ③ 節水活動、雨水利用による水使用量の削減
 - ④ 化学物質の使用量の管理と保管の徹底
 - ⑤ 省エネ改修工事に積極的に取り組み、環境に配慮した商品を販売・提供するとともに購入を促進する
 - ⑥ 作業の安全に心掛け、近隣、地域、現場の環境保全、並びに環境衛生のために最善の努力をする
4. 全社員にこの環境経営方針を周知させると共に、一般に公表し、全社員一丸となって取り組みを強化します。また、環境教育やボランティア等を行い、内外に発信することで、環境問題への意識・知識の向上に努め、地域社会・環境への貢献をします。

制定日:2008 年 12 月 1 日

改訂日:2020 年 2 月 5 日

三朋企業株式会社

代表取締役 宮石 喜康

3. 環境経営目標と実績

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。
目標設定の基準は 2022 年 3 月-2023 年 2 月の実績値を使用しています。

(1) 環境経営目標

取組み項目	担当部署	環境経営目標			
		2023～2025年度基準値 (2022年3月～ 2023年2月実績値)	2023年目標	2024年目標	2025年目標
1-1. 電気使用量の削減	事務所 工場 (全体)	電気使用量 312,325.00kwh CO2排出量141841.98kg	基準値より1%削減 309,201.75kwh CO2排出量140423.56kg	基準値より2%削減 306,078.50kwh CO2排出量139005.14kg	基準値より3%削減 302,955.25kwh CO2排出量137586.72kg
		本社	81,892.00kwh CO2排出量37834.10kg	81,073.08kwh CO2排出量37455.76kg	80,254.16kwh CO2排出量37077.42kg
		前橋営業所	35,423.00kwh CO2排出量16076.01kg	35,068.77kwh CO2排出量15915.25kg	34,714.54kwh CO2排出量15754.49kg
		伊勢崎工場	195,010.00kwh CO2排出量87931.85kg	193,059.90kwh CO2排出量87052.53kg	191,109.80kwh CO2排出量86173.21kg
	現場		節電の励行	節電の励行	節電の励行
1-2. 社有車 燃料使用量の削減	事務所 工場	ガソリン 24,474.34L CO2排出量56780.47kg 1台あたり 2,001.85L	基準値より1%削減 24,229.60L ※' CO2排出量56212.66kg 1台あたり 1,981.83L	基準値より2%削減 23,984.85L ※' CO2排出量55644.86kg 1台あたり 1,961.81L	基準値より3%削減 23,740.11L ※' CO2排出量55077.06kg 1台あたり 1,941.79L
		軽油 11,296.63L CO2排出量29145.31kg 1台あたり 3,331.18L	基準値より1%削減 11,183.66L ※' CO2排出量28853.85kg 1台あたり 3,297.87L	基準値より2%削減 11,070.70L ※' CO2排出量28562.40kg 1台あたり 3,264.56L	基準値より3%削減 10,957.73L ※' CO2排出量28270.95kg 1台あたり 3,231.24L
	現場	ガソリン 37,304.27L CO2排出量86545.91kg 1台あたり 2,486.95L	基準値より1%削減 36,931.23L ※' CO2排出量85680.45kg 1台あたり 2,462.08L	基準値より2%削減 36,558.18L ※' CO2排出量84814.99kg 1台あたり 2,437.21L	基準値より3%削減 36,185.14L ※' CO2排出量83949.53kg 1台あたり 2,412.34L
	事務所 工場	液化石油ガス(LPG) 26.70kg(12.9m³) CO2排出量80.11kg	基準値より1%削減 26.44kg(12.76m³) CO2排出量79.31kg	基準値より2%削減 26.17kg(12.64m³) CO2排出量78.51kg	基準値より3%削減 25.90kg(12.51m³) CO2排出量77.71kg
	事務所 工場	灯油 7,216.00L CO2排出量17967.84kg	基準値より1%削減 7,143.84L ※' CO2排出量17788.16kg	基準値より2%削減 7,071.68L ※' CO2排出量17608.48kg	基準値より3%削減 6,999.52L ※' CO2排出量17428.81kg

2-1. 一般廃棄物の削減	事業所 工場	廃棄物量 7.73t	基準値より1%削減 7.65t	基準値より2%削減 7.58t	基準値より3%削減 7.50t
2-2. 産業廃棄物 再資源化率の向上	工場 現場	再資源化率 91.80%	90%以上	90%以上	90%以上
3. 水資源使用量の削減	事務所 工場	水使用量 759.00m ³ 1人あたり 11.46m ³ ※'	基準値より1%削減 751.41m ³ 1人あたり 11.35m ³ ※'	基準値より2%削減 743.82m ³ 1人あたり 11.23m ³ ※'	基準値より3%削減 736.23m ³ 1人あたり 11.12m ³ ※'
4. 化学物質の管理 (2012年度～取組み)	工場	化学物質 総使用量 129.82kg	化学物質を含む製品を 適正に管理 在庫缶数 12缶以下	化学物質を含む製品を 適正に管理 在庫缶数 12缶以下	化学物質を含む製品を 適正に管理 在庫缶数 12缶以下
5. グリーン購入の検討 (2013年度～取組み)	本社・前橋 伊勢崎工場	事務所購入商品中の グリーン購入対象商品割合 46.49%	事務所購入商品中の グリーン購入対象商品割合 20.00%以上	事務所購入商品中の グリーン購入対象商品割合 20.00%以上	事務所購入商品中の グリーン購入対象商品割合 20.00%以上
6. Zリブダクト使用率の向 上 (2012年度～取組み)	現場	Zリブダクト実績使用率 11.22%	基準値より1%以上向上 11.33%	基準値より2%以上向上 11.44%	基準値より3%以上向上 11.56%
7. 社内不良発生の削減 (2022年度～取組)	伊勢崎工場	社内不良発生件数 (2022年3月～2023年2月 実績) 82件	60件以下	60件以下	60件以下

(2) 実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

※1. 目標値は、2022年3月～2023年2月の実績値の1%削減した値

※2. 実績値は、2023年3月～2024年2月に集計した値

※3. 電気のCO₂排出係数は

本社・前橋 0.462(kg-CO₂/kWh) (2018年度東京電力公表値)

伊勢崎(6月～)→ 0.462(kg-CO₂/kWh) (2020年度東京電力パワーグリッド)

2)-1 電力使用量の削減

()内は、CO₂換算値です

取組項目	部署	23年目標値 (2022年3月～2023年2月の実績値-1%)	23年実績値	目標比	判定
電力使用量 1%削減	事務所	309,201.75kwh (CO ₂ 排出量：140,423.56kg)	290,629.00kwh (131,923.45kg)	93.99% (-8,500.11kg)	
	本社	81,073.08kwh 37455.76	75,812.00kwh (34,570.27kg)	93.51% (-2,885.49kg)	
	前橋	35,068.77kwh 15915.25	36,739.00kwh (16,752.98kg)	104.76% (+837.73kg)	
	伊勢崎	193,059.90kwh 87052.53	178,078.00kwh (80,600.20kg)	92.24% (-6,452.33kg)	

2)-2 燃料使用量の削減

取組項目	部署	23年目標値（2022年3月～2023年2月の実績値-1%）	23年実績値	目標比	判定
燃料使用量 3%削減	事務所 工場	ガソリン 24,229.60L (CO ² 排出量：56,212.66kg)	23,100.17L (53,592.39kg)	95.34% (-2,620.27kg)	
		車両1台あたり使用量 1,981.83L	1,968.65L	99.34%	
		軽油 11,183.66L (CO ² 排出量：28,853.85kg)	9,783.38L (25,241.12kg)	87.48% (-3,612.73kg)	
		車両1台あたり使用量 3,297.87L	3,090.73L	93.72%	
	現場	ガソリン 36,931.23L (CO ² 排出量：85,680.45kg)	40,247.23L (93,373.57kg)	108.98% (+7,693.13kg)	
		車両1台あたり使用量 2,462.08L	2,390.63L	97.10%	
	事務所 工場	L P ガス 26.44kg/12か月 (CO ² 排出量：79.31kg)	25.05kg (75.14kg)	94.75% (-4.17kg)	
	事務所 工場	灯油 7,143.84L (CO ² 排出量：17,788.16kg)	5,922.00L (14,745.78kg)	82.90% (-3,042.38kg)	

2)-3 二酸化炭素排出量合計の削減

取組項目	部署	23年目標値（2022年3月～2023年2月の実績値-1%）	23年実績値	目標比	判定
二酸化炭素 排出量合計 1%削減	全体	332,361.00kg	318,951.00kg	95.97%	

2)-4 廃棄物の削減

取組項目	部署	23年目標値（2022年3月～2023年2月の実績値-1%）	23年実績値	目標比	判定
一般廃棄物 1%削減	事務所 工場	7.73t	7.69t	99.48%	
取組項目	部署	23年目標値	23年実績値	目標比	判定
産業廃棄物 再資源化率の 向上	工場 現場	再資源化率 90%以上	95%	158.09%	

2)-5 水資源使用量の削減

取組項目	部署	23年目標値（2022年3月～2023年2月の実績値-1%）	23年実績値	目標比	判定
水資源使用量 3%削減	事務所	751.41m ³	754.50m ³	100.41%	
	工場	1人当たり 11.35m ³ /12か月	1人当たり 11.67m ³	102.84%	

2)-6 化学物質の管理

取組項目	部署	23年目標値	23年実績値	目標比	判定
化学物質を含む 製品の適正管理	工場	化学物質を含む製品の在庫数 12缶まで	8缶	63.19%	

2)-7 グリーン対象商品購入率の検討

取組項目	部署	23年目標値	23年実績値	目標比	判定
グリーン商品 購入 の検討	事務所	グリーン商品購入率 20.00%	58.87%	294.35%	

2)-8 Zリブダクト（環境負荷低減商品）使用率の向上

取組項目	部署	22年目標値（2019年2月～2020年3月平均値+2%）	23年実績値	目標比	判定
Zリブダクト 使用率の向上	現場	Zリブダクト実績使用率 11.33%	47.78%	421.64%	



※Zリブダクトとは…

鉄板に等間隔に凹凸にリブを入れることで、
従来よりも薄い鉄板で強度を保ったダクトを作ることができます。
鉄板を薄くすることで、軽量化、省コスト化、CO₂削減というメリットがあります。

2)-9 社内不良発生件数の削減

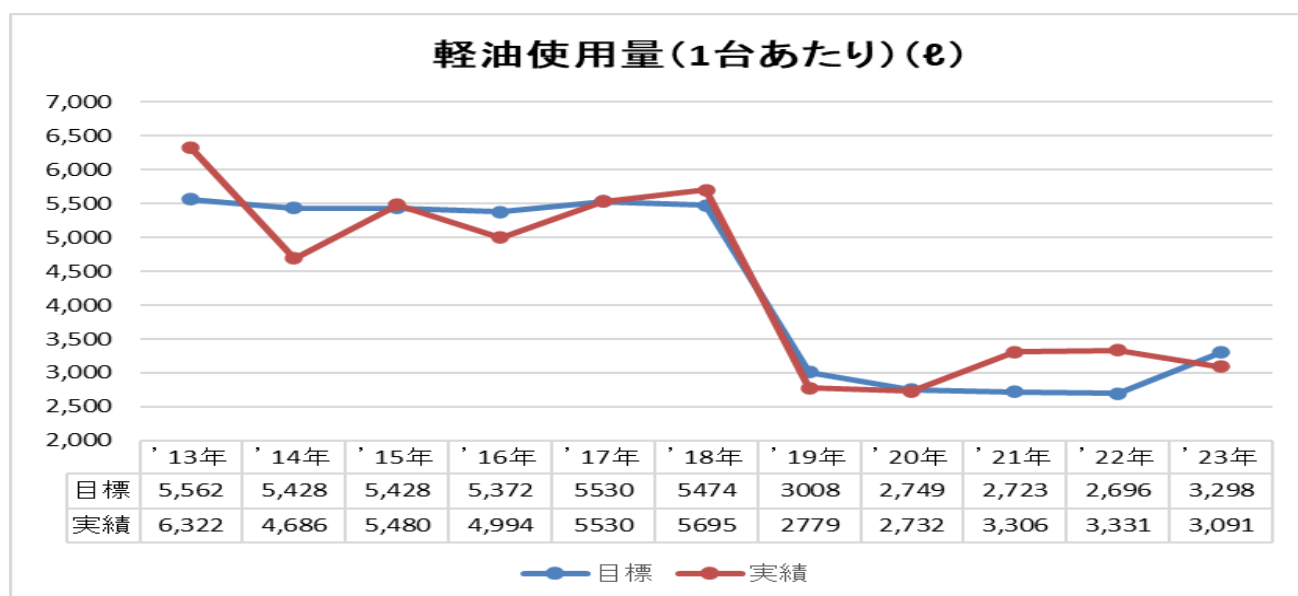
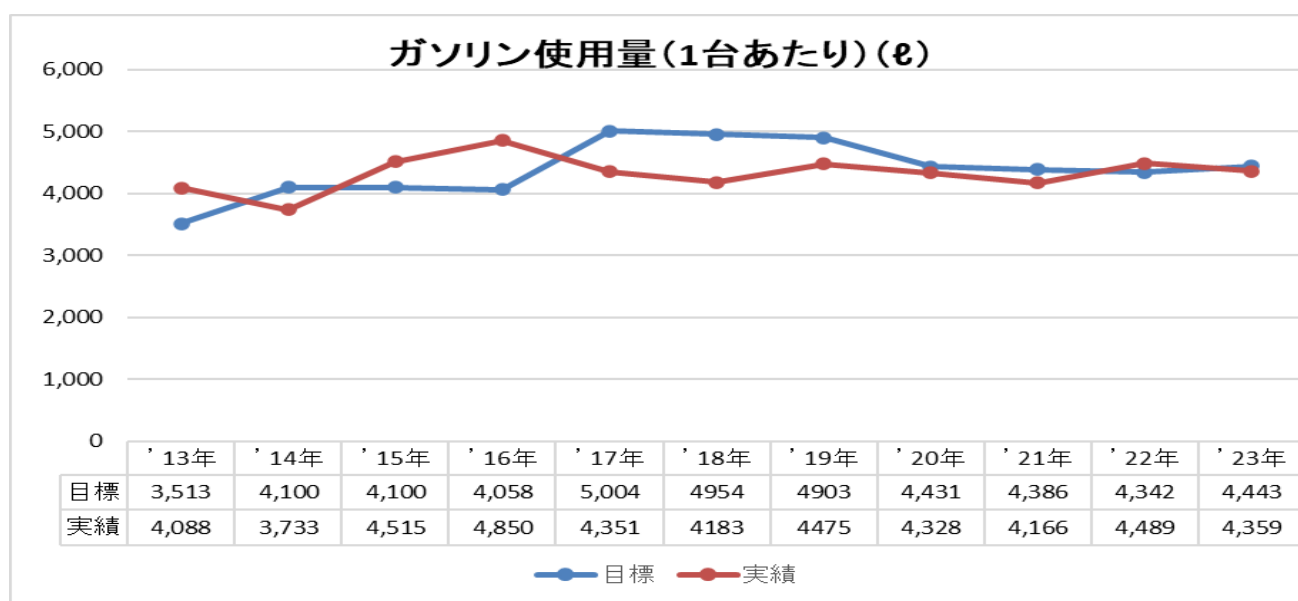
取組項目	部署	23年目標値	23年実績値	目標比	判定
社内不良発生 の削減	伊勢崎	社内不良発生件数の削減 60件	40	66.67%	

2)-9 年度毎の推移

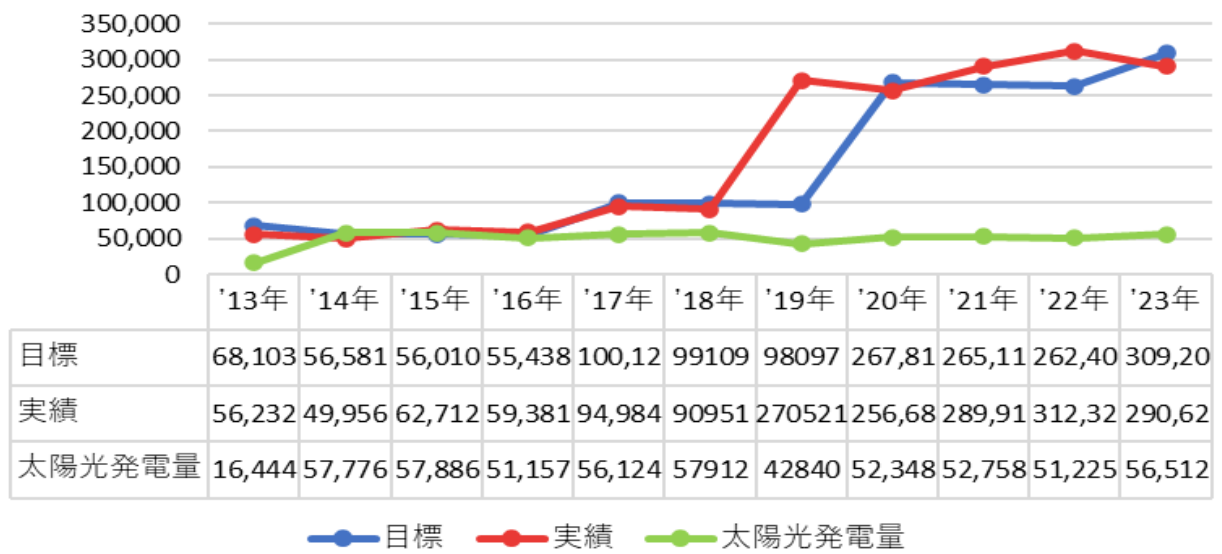
※ 3月～2月を1年度として集計しています。

- ・2007年度は9月～2月のデータのための、月平均を算出し、12倍した値を使用しています。）
- ・2008・2009年度の実績値は、集計期間の違いにより、過去の環境活動レポートの数値とは異なります。

① 車両燃料・電気・LPガス・灯油の使用量



電気使用量 (kWh)

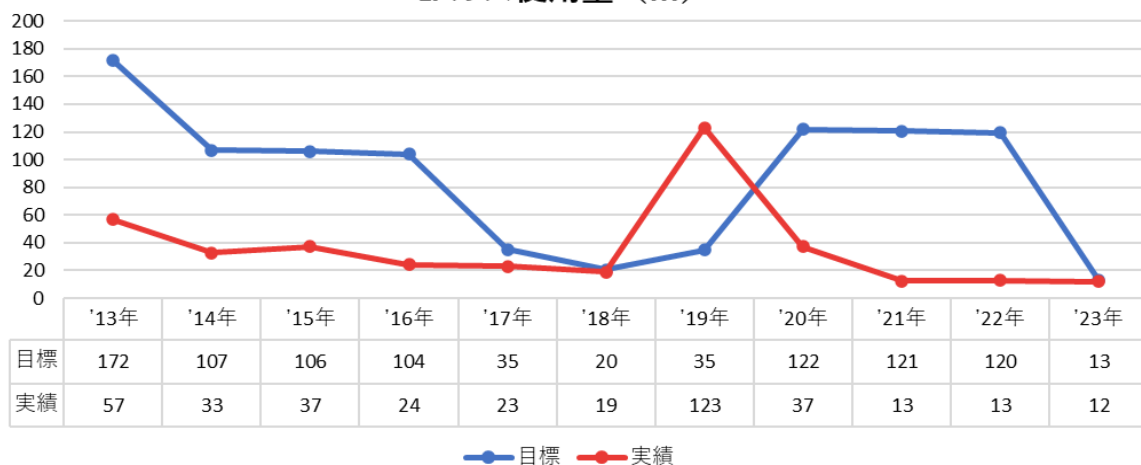


※電気使用量は2017年から前橋営業所の使用量を集計に含めた為、大幅に増え、
2019年からは伊勢崎工場を集計に含めた為さらに使用量が増えています。

太陽光発電も行っており、発電量を保つため、毎年4月にソーラーパネルの清掃を社員が行っています。

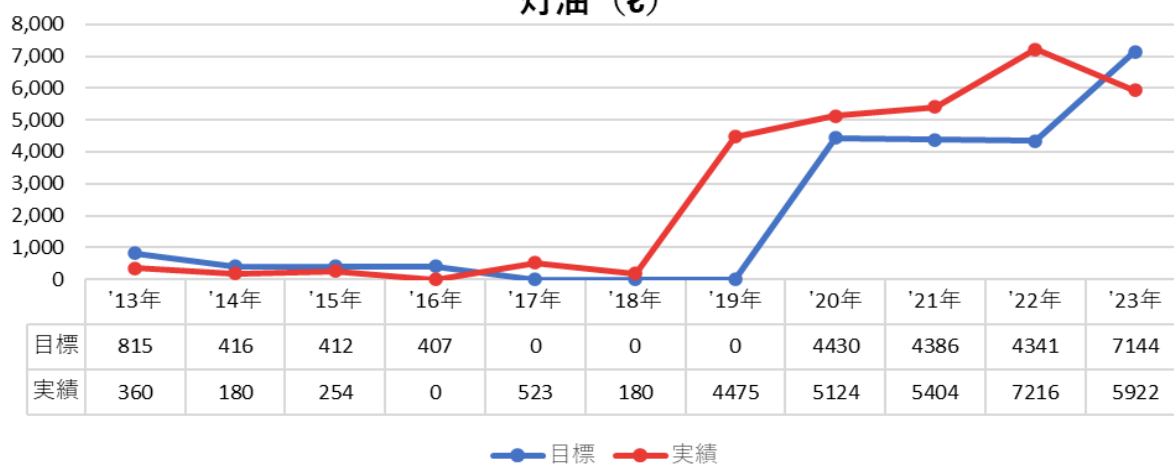


LPガス使用量 (m³)



—●— 目標 —●— 実績

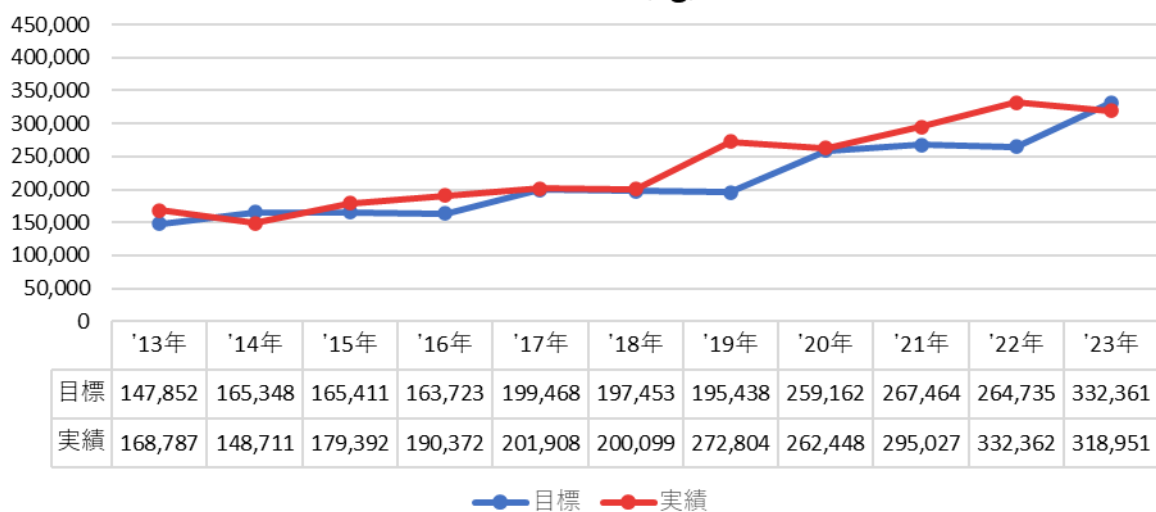
灯油 (ℓ)



—●— 目標 —●— 実績

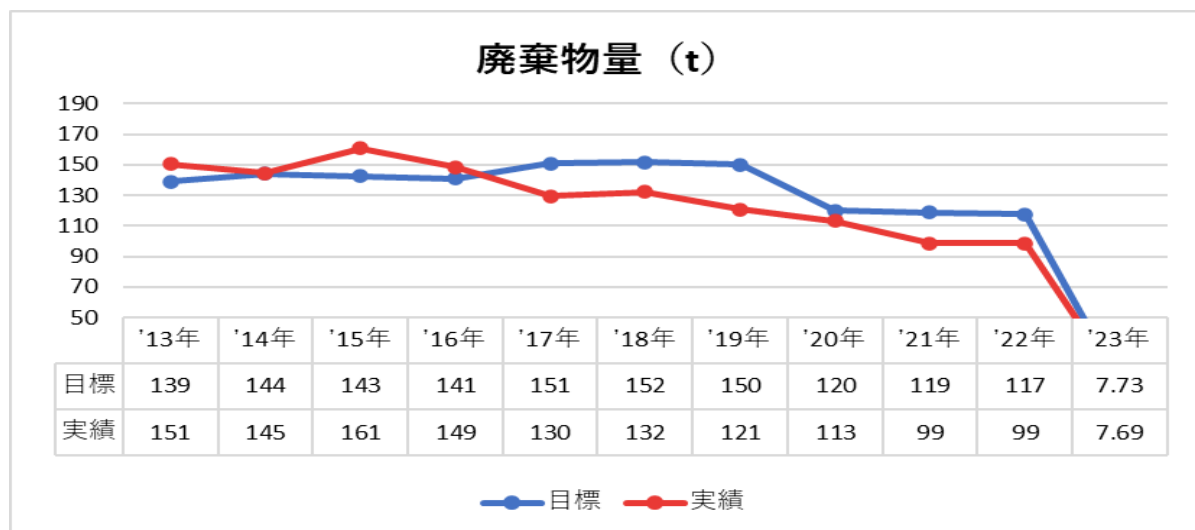
② CO₂排出量

CO₂排出量 (kg)

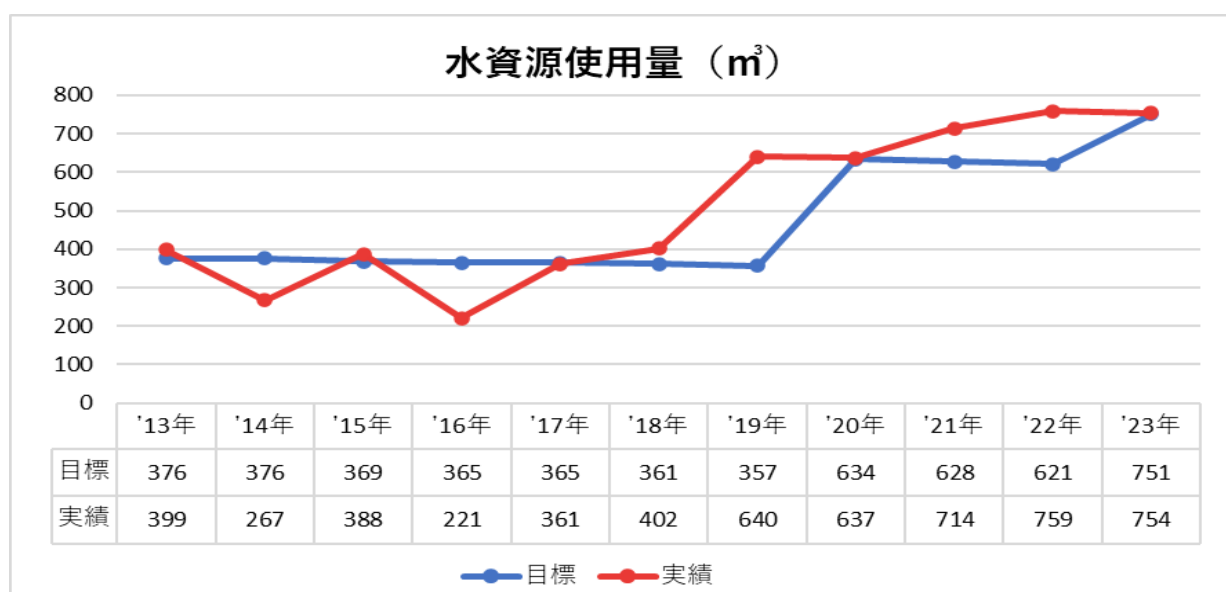


—●— 目標 —●— 実績

③ 廃棄物量



④ 水資源の使用量



水の使用量を少なくするため、2015年に自動水栓を設置しました。



その他、環境への取り組みとして会社周辺のゴミ拾いや、長期連休前には社員全員で会社内の大掃除等も行っています。

社用車や普段使用する機械類等も丁寧に掃除・点検を行っておく事で緊急事態発生リスクも削減し、環境に配慮した取組が行えるよう心掛けています。



4. 環境活動の取り組み計画と評価

2023年環境活動取組み計画と評価					
項目	区分	取組計画	結果	評価と今後の方向	
CO ₂ 排出量の削減	電力	事務所 工場	①未使用時の電気消灯の徹底	徹底できた	今年は例年が増えて暑さや寒さの厳しい中ではありましたが、年間を通して設定温度での適正使用は意識できたと思います。冬場の暖かい日での使用がもっと控えられたと思うのでこまめにスイッチを切るなど工夫して、快適な環境を保ちながら節電にも取り組んでいきたいと思います。
			②節電シール等の表示の見直し	実行できた	
			③換気扇・ロスナイ換気扇の更新による節電	遵守できなかった	
			④空調温度設定の遵守	実行できた	
			⑤昼休み、休憩時の消灯・省エネ	実行できた	
			⑥クールビズ・ウォームビズの励行	実行できた	
			⑦電力不要時の負荷遮断	実行できた	
			⑧太陽光発電量のチェック	実行できた	
	ガソリン	事務所 工場 現場	①アイドリングストップの徹底	遵守できなかった	安全大会では社員みんなで車両点検や清掃に取り組み、車両の整理整頓や積載物の軽量化が実行できたと思います。休憩時のアイドリングストップが遵守できていないので、社員への呼びかけを積極的に行っていきます。現場も忙しく遠方の現場も増えているので、効率の良い配車ができるよう見直ししていくと共に、環境に配慮した安全運転ができるよう社員みんなで取り組んでいきたい。
			②効率の良い配車・相乗りスケジュールの検討・実施	検討の余地あり	
			③車両の燃料使用量と走行距離のチェック	実行中	
			④「エコドライブのすすめ」を車両に掲示(チェック)	実行中	
⑤積載物の見直しと軽量化			実行できている		
⑥エアーチェック			実行できた		
軽油	事務所 工場 現場	⑦ハイブリッド車購入の検討	順次導入中		
		①アイドリングストップの徹底	実行できた		
		②効率の良い配車・相乗りスケジュールの検討・実施	実行できた		
		③車両の燃料使用量と走行距離のチェック	実行中		
		④「エコドライブのすすめ」を車両に掲示	実行中		
		⑤積載物の見直しと軽量化	実行できた		
LPガス 灯油	事務所 工場	⑥エアーチェック	実行できた	工場での灯油の使用が増えてしまった。特に伊勢崎工場では長時間の使用が多くなってしまったので、時間を決めて使用できるよう工夫と検討をしていきたい。	
		①暖房等不要時はこまめにスイッチオフする	実行できなかった		
		②節ガスシール等の表示(チェック)	実行できなかった		
		③灯油タンクの設置、ポリタンク削減	実行できた		
廃棄物の削減	事務所 工場	④湯沸かし器温度設定の管理	実行できた	昨年に引き続きICTシステムやサーバーの活用を行っており、裏紙使用を徹底することで不要な印刷物の削減できた。鉄板の余り板や戻り品の再利用も行えているが、現場での整理整頓の実施は実行できていない現場もあるので、社員に呼びかけを行うとともに、在庫の把握をすることで戻り品を減らし、資源の再生利用化に取り組んでいきたい。	
		①分別の実施	実行できた		
		②両面コピー・裏紙利用の徹底	実行できた		
		③端材の減少、再利用の検討	鉄板端材は殆ど買取を依頼		
		④歩留り改善の為データ集計、周知	実行できた		
	現場	⑤サーバーの活用で、紙使用の減少	実行できた		
		①分別の実施	実行できた		
		②マニフェスト管理の徹底	徹底できた		
		③分別別に再生利用ルートの改善	改善事項無し		
		④戻り品の検証と縮小化	改善の余地あり		
水資源使用量の削減	事務所 工場	⑤現場における整理整頓の実施と在庫の把握	改善の余地あり	暑い日の飲料用の使用量は増えてしまったが、年間を通して節水を心がけられたと思う。節水シールを目のつくところに貼ることで社員に節水を呼び掛けていきたい。	
		①節水こまの確認	確認済み		
		②節水シール等の見直し	見直しできた		
化学物質の管理	工場	③自動水栓の設置(伊勢崎)	実行できなかった	5Sパトロールでの在庫数量の確認も毎月行い適正に管理できた。安全大会では緊急事態時での対応訓練を行い、社員に使用時の注意点を呼びかけることができた。	
		①EA21事務局が有機溶剤の管理状況を把握	徹底できた		
		②管理が不適切な場合は直ちに改善する	管理は適切だった		
グリーン購入の検討	事務所	③化学物質使用量・在庫数を毎月集計	実行できた	各拠点ともに積極的にグリーン商品を購入することができた。環境にやさしい商品を今後も使用していきたい。	
		①製品購入時にグリーン購入対象商品を候補として検討	実行できた		
Zリバダクト使用率の向上	現場	②価格等考慮したうえで可能な限りグリーン購入対象商品を購入する	実行できた	大規模な現場でのZリバの施工は実施できたが、他の現場でも使用できるところはないか見直しをして、Zリバの提案を積極的に行っていきだい	
		①省エネリニューアル工事の提案、受注	実行できた		
		②客先へのZリバダクトの提案を強化	実行できた		
内部環境監査	事務所	③全ダクト製作量中のZリバダクト製作量を毎月集計	集計できた	内部監査を行うことで改善しながら活動に取り組んでいきたい	
		内部環境監査チェックリスト作成	実施できた		

5. 関連法規への違反、訴訟等、の有無

関連法規制の遵守状況確認を実施した結果、環境関係法規等への違反、訴訟はありませんでした。
近隣、関係機関等からも、指摘や苦情も過去3年間ありませんでした。
当社に関連する主な法規制は下表の通りです。

主な適用法規	当社の対応	遵守状況
毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法	・白地に赤で劇物の表示 ・対応マニュアルと教育訓練 ・整理整頓	遵守確認済み
廃棄物処理法 群馬県環境基本条例	・産業廃棄物の適正な保管、委託処理 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出(毎年6月30日まで) ・保管基準(排出防止、掲示板等) ・外部委託処理の書面契約(運搬、処理)	遵守確認済み
道路法	・道路の保全等 ・車両の積載物の落下の予防等の措置	遵守確認済
道路運送車両法	・所有車両の法定点検 ・車検・車検証(2年ごと・1年ごと)	遵守確認済
道路交通法	・貨物自動車運送事業輸送安全規則 ・輸送の安全 ・過労運転の防止 ・積載量の遵守	遵守確認済
家電リサイクル法	・使用済み製品の適正な処理(廃棄費用の負担)	遵守確認済
自動車リサイクル法	・新車購入時に廃車する際の処理費用負担	実施確認済
消防法	・消防法危険物の指定数量(灯油は1000ℓ、工業用オイルは6000ℓ)の1/5以上、指定数量未滿 ・事前届出、管理	遵守確認済
	・基準に基づく消防用設備等を設置・消火器の設置 ・維持管理	遵守確認済
	・変電設備の使用、キュービクルの点検 ・変電設備届出、届出書の表示・保管 ・変電設備の位置、構造及び管理の基準遵守 ・保守点検(委託業者)実施 ・委託業者との契約	遵守確認済
特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律(特定特殊自動車排ガス規制法)	・排出ガス性能基準(技術基準)遵守 ・適合車表示の無いものは使用不可 ・前照灯及び後照灯を備えたものでなければ使用してはならない ・日常点検の実施、基準値のクリアー、必要設備の装備	遵守確認済
浄化槽法 群馬県浄化槽施工細則	・新設、変更、廃止後30日以内 ・清掃1回/年・点検3回/年 ・指定検査機関法定検査(毎年11条検査)	遵守確認済
フロン排出抑制法	・簡易点検の実施1回/3か月	遵守確認済
騒音規制法 群馬県の生活環境を保全する条例	・設備設置の届け出 ・公害防止責任者の届け出 ・第4種区域(規制基準:8時~18時 70dB) ・空気圧縮機使用の1日の作業時間は14時間を超えて行わない ・連続して6日を超えて行わない	遵守確認済
振動規制法 群馬県の生活環境を保全する条例	・設備設置の届け出 ・公害防止責任者の届け出 ・第2種区域(規制基準:8時~19時 70dB) ・空気圧縮機使用の1日の作業時間は14時間を超えて行わない ・連続して6日を超えて行わない	遵守確認済
パナソニック グリーン調達基準	・パナソニック様のグリーン調達基準の遵守	遵守確認済

6. 代表者による全体の評価と見直しの結果

環境経営レポートの取り纏めありがとうございます。

分かりやすく作ってあるので、社員への情報共有をお願いします。

法規制の変更・新設により、有機溶剤や粉じん、労働衛生に関する規則が変わっていますので、それらにも注意を払い情報収集をお願いします。

省エネ、省資源に関しては、対策の手詰まり感が出ていますが、技術も少しずつ進歩し、良い製品が出ていますので、老朽化した設備から更新の検討もしていきたいと思っています。何か現場からの要望などヒアリングをお願いします。

毎朝の掃除や草むしり、場内の5S活動、パトロールなどありがとうございます。継続していただき、きれいで清潔、エコロジーな企業でいられるよう、今後ともよろしくをお願いします。